



令和6年度 台東区立忍岡小学校 学校経営方針

令和6年4月1日 台東区立忍岡小学校 校長 松田 正昭

【台東区教育大綱】◎温故創新とこころざし ○自己実現と支え合い ○教育に対する信頼と尊貴
○心の豊かさと学びの環境づくり ○絆と地域力

◎温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、
新たな地域や文化を創造するひとづくりを進めます。

【台東区教育委員会教育目標】

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

台東区教育大綱や台東区教育委員会教育目標を受け、予測困難で急激に変化する社会を、子供一人一人が夢と希望をもってたくましく生き抜いていく力を身に付けさせたいと考えます。そのためには、自ら学び、主体的に判断し、よりよく行動できる資質・能力を育成していきます。この考えを基盤に忍岡小学校の学校経営方針を以下のように設定します。

1 学校の教育目標 「がまん強い子」「考える子」「思いやりのある子」「健康な子」

2 目指す子供像（学校の教育目標と子供の実態から）

（知）確かな学力を身に付け、すすんで探究し、自ら考え表現できる子供

（徳）互いの人格を尊重し、きまりを守り、思いやりの心をもてる子供

（体）すすんで運動に親しみ、自分の健康を考えられる子供

（基底）自らの可能性をどのように広げていくかを考え、ねばり強く努力する子供



（貢献）「地域を愛し、誇りに思い、将来地域の発展に貢献できる子供」へと成長・深化

⇒「地域を最高の学びのキャンパスに」

3 目指す学校像

人権尊重の精神を基盤にし、主体的に学ぶ意欲をもつとともに、日本の文化と伝統を尊重し、国際社会においても信頼と尊敬を得ることができるよう、心身ともに健康で心豊かな児童を育成するため、本校の教育目標を踏まえて、以下のような目指す学校像を設定します。

- 子供にとって 「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」
- 地域や保護者にとって 「安心して子供を預けられ、誇りに思うことのできる学校」
- 教職員にとって 「互いが協力し合い、やりがいを実感できる学校」

- 4 学校経営の基本方針（「台東区学校教育ビジョン」「学びのキャンパス台東アクションプラン」）
台東区学校教育ビジョンの実現に向け、「知」「徳」「体」のバランスのとれた成長を保証していきます。

- ①これからの時代に対応したこれからの社会（Society 5.0）を生き抜く力の育成
- ・全教育活動を通じた人権教育の推進と道徳教育の充実「自他の違いを認め、互いを大切にする子供の育成」「自他の生命を大切にする子供の育成」
 - ・自立した態度の確立…自分で考え、判断し、行動できる子供の育成
 - ・基礎的・基本的内容の理解・習得の徹底と活用する力の育成
 - ・主体的、対話的で深い学びの推進（リアルとデジタルの組合せ等）

②多様な学習機会と学びの環境の充実（個別最適な学びと協働的な学びの推進）

- ・指導の個別化を充実し、個々の子供への丁寧な対応と支援を実施
…一人1台端末の効果的な活用を始めとしたICT教育の充実
- ・体験活動を通じた多様な他者との協働
…異学年交流、地域（大学や文化施設等）との連携、異校種間連携（こども園、中学校等）
- ・相互の信頼関係に基づく保護者と学校との連携
- ・特別支援教室、スクールカウンセラー、関係諸機関等とのネットワークづくり
- ・外部人材の活用…学力向上推進ティーチャー、特別支援教育支援員、クラス・サポート・スタッフ等
- ・教員の資質・能力の向上…校内研究やOJT、OFF-JTを通しての教員の資質向上

③新たな価値を創造できる“人財”の養成

- ・問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく探究的な学習の充実
…本年度は総合的な学習の時間及び生活科を重点に校内研究を推進する。
研究主題「探究する授業の創造～地域と関わる活動を通して～」
- ・将来グローバルに活躍するための力の育成…「伝統文化教育」と「国際理解教育」の推進
- ・地域の人的・物的資源を教材等に活用した探究的な体験活動の実施
- ・ボランティア精神、アントレプレナーシップ等を通じたキャリア教育の充実
…起業家教育や防災教育等により、社会に参画しようとする意欲や態度を育成

5 学校経営上の目標と方策

（1）中期的な目標と方策

①児童数増加への組織的な対応

- ・12学級を維持するための対応…施設の整備と教職員の組織体制の確立
- ・PTAや地域、児童館、放課後子ども教室との連携 忍岡小学校の伝統を理解、特色ある教育活動の協力体制の継続

②基礎的・基本的な内容の確実な定着、活用する力を目指した学力の向上、体力の向上

- ・子供の学ぶ意欲を向上させ、基本的な学習習慣を確立
- ・身に付けた知識・技能を活かした活用する力を育てるための授業改善
- ・体育科の授業の充実、休み時間や体育朝会等を通しての運動の日常化

③個々の児童の状況に応じた指導

- ・個々の児童の実態に応じた指導・支援の工夫…一人1台端末の効果的な活用
- ・自己肯定感の醸成…人権教育や道徳教育の充実
- ・基本的生活習慣の定着…あいさつ運動の活性化
- ・子供の問題行動や家庭環境の課題に対するスクールカウンセラーや関係諸機関との連携

…いじめや不登校等への組織的な対応（いじめ対策委員会の毎月開催）、ヤングケアラーの把握と支援

- ・特別支援教育校内委員会の充実…毎月定期的に開催

④教員の積極的な研修への参加態度・実践意欲の育成

- ・地域の人的・物的資源を生かす「伝統文化教育」と「国際理解教育」について継続的に推進
- ・学習指導要領に示された資質・能力の育成を目指した授業実践と授業改善
- ・教職員のキャリアアップの推進
 - …区の育成講座、都の研修（東京教師道場等）、指導教諭の模範授業等への参加奨励
- ・O F F – J Tの奨励（都・区・全国等の各種研究会への参加や情報交換）

⑤地域・保護者との連携、風通しのよい学校づくり

- ・地域・保護者・P T Aと連携した創立150周年を見据えた諸準備の推進
- ・保護者会、学校公開、学校行事等における開催内容や方法の工夫
- ・家庭教育学級や学校保健委員会の内容の充実
- ・自然災害（地震・水害等）対策に向けた拠点校としての地域と連携した防災活動の取組
- ・地域やP T Aと連携した「一緒につくる学習活動や体験活動」の推進と充実

（2）本年度の目標と方策～フレキシブルな教育（柔軟性のある教育）の実現を目指して～

①学力及び体力の向上

○各教科等を通して基礎的な知識・技能の習得と活用する力の育成

- ・授業改善推進プランに基づく授業改善…各種学力調査結果の分析と活用
- ・高学年の教科担任制の充実…5・6年における社会科と理科の交換授業
- ・外国語科、外国語活動、英語活動の時数の確保
 - …高学年70時間、中学年35時間、低学年20時間（低学年は余剰時間で実施）
- ・英検J r. 検定の推奨と実施…1学期と3学期の年間2回の実施
- ・各教科の授業を通じた「論理的な思考力」や「話す力」の育成
 - …「根拠を基に自分の考えを述べる」「少人数、学級での発表・表現ができる」授業改善
 - 第6学年は東京上野ライオンズクラブ主催の弁論大会に出場（例年12月に開催）
- ・発達段階に応じたノート指導の徹底…学習のめあての明確化、適切な学習の振り返り
- ・地域の人的・物的資源を学びの場として積極的に活用…上野公園周辺
- ・東京ベーシックドリルへの取組…学期ごとの成果の見取り
- ・幼稚園、保育園、こども園からの継続的な指導、中学校へ向けての教科指導の充実
 - …スタートカリキュラム（なかよしタイム）の活用、「連携の日」を参考にした授業改善

○授業と1人1台端末の効果的な活用、プログラミング教育との連動

- ・1人1台端末の効果的な活用による「主体的な学び」「協働的な学び」の追究
 - …リアル（対面型授業）とデジタル（オンラインによる授業）を組み合わせた授業
- ・I C T機器を活用したスタディ・ログの把握と指導方法の工夫による授業改善
- ・プログラミング教育との連動…教科等の学習でプログラミングを活用
- ・全教科を網羅した家庭学習…1人1台端末を活用した家庭学習、学年×10分の実施

○健康な体の育成と体力の向上

- ・運動する楽しさや運動の特性を味わわせる体育科の授業改善…体力調査の結果の分析。
- ・体育朝会や運動月間など本校の特色ある体育プログラムの推進
 - …長い距離を走る練習をする期間の設定等、短なわや長なわを使った体力向上のための取

組の実施→運動の日常化を図る

- ・専門的な技術を有するゲストティーチャーを招聘した体験学習
- ・健康づくりと持久走大会を目指した長い距離を走る練習…不忍池マラソン大会の実施
- ・栄養士を中心にした食育教育…栄養士による栄養指導の実施、特色ある給食メニューの提供

○伝統や文化に関する教育の推進

- ・箏講師を招聘した年間を通じた活動…音楽科の授業、クラブ活動（魅力ある教育活動）
- ・茶道、落語等の地域の“人財”を効果的に活用した体験活動の実施
- ・学校2020レガシーと連動した特色ある取組

…地域の伝統行事や歴史的資源と学校の教育活動との関連性の向上

○国際理解に関する教育の推進

- ・ALTと担任による1年生からの授業カリキュラムの充実 外国語科、外国語活動、年間指導計画の見直しと改善
- ・東京韓国学校との交流（第4学年）
- ・外国人との交流、留学生との交流…オンラインの活用
- ・全学年が外国語（英語・中国語・韓国語）に親しむ校内掲示の充実
- ・学校2020レガシーと連動した特色ある取組…「国際交流の充実」「アスリートとの交流」
- ・英検ジュニア検定の推奨・実施（年間2回）→英検5級～3級への移行も視野に

②豊かな心の涵養

○人権教育の推進

- ・全教科を通して児童に生命の尊さ、自他の人権を尊重する教育を推進…いじめの防止
- ・東京都の「人権教育プログラム（学校教育編）」を活用しての授業
- ・講師による地域を生かした人権教育学習

○道徳授業の充実

- ・特別の教科道徳の授業の年間を通じた確実な実施と授業改善
…自己の生き方を見つめ、多様な視点からの話し合いを通じてよりよい生き方を考える。
重点指導内容項目：「節度、節制」「生命の尊さ」「親切、思いやり」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「国際理解、国際親善」
- ・魅力ある道徳授業地区公開講座の開催…授業公開と外部講師を招いての講演
- ・「こころざし高く」の活用…台東区の地域教材を活用して学ぶ

○挨拶運動の継続・発展

- ・積極的な挨拶の推進…全学年が関わるあいさつ運動の実施

○生活ルールの指導の徹底

- ・「しのぶっ子の一日」忍岡小ルールの徹底
…児童に規範意識と規範ある態度を育てるとともに、保護者や地域とともに児童の健やかな成長を支える観点から必要に応じて改訂する。
- ・忘れ物ゼロ、遅刻ゼロ…毎日の点検、保護者との連絡
- ・安全指導・安全点検の徹底…「安全教育プログラム」を活用した学習や指導の実施
- ・生活指導部を中心とした問題行動への迅速な対応

○多様な他者との交流の推進

- …異学年交流（たてわり班活動）の充実、地域との連携、異校種間連携（特に、こども園）
- ・相互の信頼関係に基づく保護者と学校との連携

○環境教育・キャリア教育・安全教育（防災も含む）の推進

- ・身近な環境に関心をもち、自らすすんで行動しようとする態度を養う環境教育の充実
- ・ボランティア精神や起業家精神を養うキャリア教育の充実
- ・学校防災拠点本部としての準備…地域や台東区役所危機災害対策課、消防署等との連携
- ・自助・共助・公助を意識した安全教育・防災教育の実施…関係諸機関による出前授業の実施

③一人一人に向き合う教育の推進

- ・支援を要する児童への迅速な対応、ヤングケアラーや問題行動への対応
…スクールカウンセラー、ソーシャルスクールワーカー、特別支援教室や関連諸機関と連絡・情報交換
- ・外部人材の活用…特別支援教育支援員、エデュケーション・アシスタント等
- ・保護者との連携・共通理解を基にした指導
- ・関係諸機関との連携…教育支援館、子供家庭支援センター、児童相談所、警察等
- ・小中連携の推進、スタートカリキュラムの実施…忍岡こども園等との連携

④地域や外部機関との連携 ⇒「地域を最高の学びのキャンパスに」

- ・創立148周年、地域との絆をさらに深く連携
- ・上野公園等を「学びのキャンパス」とした学習活動や体験活動の実施
…文化施設、寺社、大学、留学生協会等外部団体との連携
- ・学区域にある世界文化遺産を積極的に活用
- ・学校から発信…ホームページの内容の充実、メール配信システムの活用（ペーパーレス化）

⑤教職員の研修の活性化（自働と協働による授業力の向上）

- ・総合的な学習の時間と生活科を通して児童が主体的、協働的に取り組む探究学習の実践
 - ・計画的なOJTの実施…主幹教諭や主任教諭を担当者にしたOJTの実施、若手教員の育成
 - ・毎週の週案簿提出…専科と担任の連携、見通しをもった学習指導計画
 - ・生活指導上の問題行動に対して、組織的に連携…生徒指導提要の理解を深める。
 - ・教職員の学ぶ機会を推奨…区教委の講座、東京教師道場等への参加、各種研究会等のOFF-JTへの参加の推奨
- ☆令和6年度から採用の教科書に対応した各教科等の年間指導計画の見直し

⑥組織人としての意識の向上（自働と協働による組織力の向上、働き方改革の推進）

- ・危機管理体制の確立…いじめ、不登校、けがの防止等への組織的な対応
- ・服務事故防止の徹底…定期的な服務事故防止研修の実施と日常の指導
- ・職務の遂行と勤務時間に対するライフワークバランスや費用対効果の意識付け
…計画と見通しをもった時間内の就労（全教職員全員の月平均時間外勤務を45時間以内に、一月あたりの時間外勤務80時間超過者を「0」に）
- ・スクール・サポート・スタッフ、エデュケーション・アシスタント、理科支援員等の外部人材を活用した効果的な校務支援
- ・校務支援システムや学校園等情報配信システムを活用した連絡・引継ぎ事項の簡略化
- ・一日の生活時程の見直し、会議回数削減、開会の開始時刻の徹底と時間の短縮
- ・スマまち機能等を活用したペーパーレス化や各種文書の押印省略化の推進

- ・教職員間のコミュニケーションを円滑にし、互いに何でも話せる環境・風土づくり

⑦その他の重要な方策

ア校内の安全・安心の徹底

学校事故、不審者対応、様々な感染症等に対する対応、休校等への備えを常に準備してきます。また、感染症の状況を踏まえつつ、学びが滞ることがない学校生活を検討します。

- ・台東区教育委員会の基本方針を基に組織的な対応の実施
 - ※危機管理マニュアルの見直し・改善と共通理解の徹底
 - ※より実効性のある避難訓練の実施
 - ※食物アレルギー対応研修や不審者対応訓練の早期実施による対応力の向上
- ・台東区教育委員会や学校医と連携した感染症等への対策
 - ※児童の学びを保障するための、必要に応じた最低年1回のオンライン学習の実施
 - ※児童への手洗い、うがいの推奨
- ・学校園等情報配信システム（スマまち）の活用等による保護者への情報提供
- ・教職員の健康管理の徹底

イ行事の精選と発想の転換による新しい学校づくり

- ・年間行事の内容と時間配分の妥当性の検討（費用対効果の意識）
- ・行事の内容と方法の検討…行事の意義や効果を考慮した内容の検討